

2017 - 2018 年度 国際ロータリー第 2740 地区

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740 ガバナー月信



ロータリー：変化をもたらす
～ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE ～



服部大次郎 「師走の戸ヶ里漁港」

Rotary



Vol.6

December
2017

12

2017-2018 年度ガバナー 駒井英基

佐賀城下まち歩き



築地反射炉跡(写真・文 / 富田 紘次)

築地反射炉跡

江戸時代、佐賀藩は福岡藩とともに長崎港の警備を担っていた。幕末になると佐賀藩は、佐賀藩領だった神ノ島や伊王島に独自に砲台を増設し、警備強化を図った。そこで嘉永3年(1850)、日本初の反射炉である築地(ついじ)反射炉を佐賀城下郊外に建設し、鉄製大砲の鑄造に取り組んだ。その最初の火入れが行われた12月12日は、佐賀では「反射炉の日」と呼ばれている。

もくじ CONTENTS

■ ガバナー挨拶	2
■ ガバナー補佐リレー随想	3
■ 2016-17年度ライラ決算書	4
■ クラブ奉仕戦略計画セミナー報告	5
■ 職業奉仕セミナー報告	7
■ 青少年奉仕統括セミナー報告	8
■ 米山の集い	10
■ インターアクト前期指導者研修会報告	11
■ ガバナー公式訪問クラブ報告	12
■ 地区大会速報	19
■ 2020~2021 ガバナーノミニ・デジグネート推薦の件	21
■ コーディネーターNEWS	22
■ 文庫通信	23
■ 新会員紹介、寄付者紹介	24
■ 会員数・出席報告	25
■ トロント国際大会ご案内	26

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2740地区
2017-2018年度 ガバナー

駒井 英基



地区大会を終わって思う事

今年も7月11日鹿島RC様からガバナー訪問が始まりましたが、10月17日佐賀南RCの訪問で地区内57クラブ全部の訪問が終了しました。訪問してみて今思うに、佐賀県と長崎県は、地図上で思い描く以上に広いこと、地区内クラブは、規模の大きさこそ様々ですが、それぞれに工夫を凝らし、日常の奉仕活動にいそしんでおられることを知りました。また、例会の運営方法も様々で、ユニークな発想で運営し、寄付活動も創意工夫に満ちた方法でなさっておられる姿を見て、地区内のロータリーアンの皆様方の活動に力強さを感じました。私としては、実際無理に拡大を図るより、内容を充実していただき、力強い結束力を持ったクラブにしていだけるよう御願いも致して回りました。

私の年度では、今年3月に2016年度規定審議委員会決議を盛り込んだ新しい手続き要覧が、配布されていますので、其れに従い各クラブ様方も、標準定款を新しいものにとり換えていただくことと、常設委員会の配置が今までと異なっておりますので、それに準じた委員会構成にしていだけるよう、御願いすることになりました。さすがに9月以降に訪問させていただきましたクラブでは、色々な情報が伝わったのか、すでに新定款になさっておられましたし、委員会構成も新しいものに変更された活動計画になっておりました。

多少の委員会編成替えがあっても、既に各クラブで長年にわたって活動され、機能しておられる委員会の下で活動されている奉仕活動そのものは、そのまま継続しつつ、今後の予算と人員の有効活用に役立てていだけることを、心より願っております。皆様方の御協力を心より感謝いたします。

また、11月18日に開催されました、地区大会では、RI会長様に酒井正人RIコーディネーターを御迎えして、今年はRI現況報告に加えて「変わりゆくロータリー」という演題にて基調講演もいただきました。具体的な変更事項も明確にお話しただけましたので、今後の皆様方のクラブ運営に参考にして頂ければ幸いです。

7月のガバナー年度スタート以来5か月間は、瞬く間に過ぎてまいりましたが、多分、RIの言っている変革の年というのは、こういうものなのでしょう。

皆様方にとって、充実した年度となることを心より願っております。

ガバナー補佐リレー随想

第5グループ ガバナー補佐

岩崎 邦臣

(佐世保西RC)



第2740地区 2017～2018年度 第5グループ ガバナー補佐を拝命し駒井ガバナーご指導のもと、7月12日に佐世保ロータリークラブ、7月27日に平戸ロータリークラブ、7月28日に松浦ロータリークラブ、8月8日に北松浦ロータリークラブ、8月29日に佐世保西ロータリークラブと第5グループ各会員の皆様のご協力により、駒井ガバナー公式訪問が終了いたしました。そ

の際、駒井ガバナーからは、第5グループ各々のクラブ活動に対し「素晴らしくよく出来ており私からは特に申し上げることはございません。」とお褒めいただき、大変「ほっ」としております。

小生もガバナー補佐として公式訪問させていただき第5グループ全会員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

現在、佐世保地区において第5・6グループ8ロータリークラブ合同会長・幹事会が行われておりますが、第5グループのみでの会長・幹事会は、行われておりません。今回、新たに第5グループの5ロータリークラブでの第1回会長・幹事会を10月10日にサンパーク吉井にて開催いたしました。

議題として「IM開催について」と「第5グループの今後について」の2点を取上げました。

「IM開催について」ここ2年間は、第5・6グループとしての開催が無く本年度は、「第5・6グループでIM開催を…」との声が多く聞かれ来年の4月～5月頃に開催することで決まりました。次に「第5グループの今後について」では、今後も第5グループの合同会長・幹事会を開催することで佐世保ロータリークラブ富永会長のご指導により、スムーズに議案も承認されました。IMでは「楽しいロータリーをめざそう!」を目標に進めていきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願い致します。

最後になりますが、まだまだ下半期を残しております。各クラブの今年度の目標を完遂する事を期待しまして、各クラブの例会場でお会いする事を楽しみにしております。

2016-17 年度 RYLA 決算書

第2740地区第38回RYLA

黒髪少年自然の家 (H29/5/27~28)

地区ガバナー、地区幹事、Gエレクト	3
地区関係者	9
来賓計	12
登録者ロータリアン	80
〃ローターアクト	21
〃一般	41
〃インターアクト	13
その他(事務局)	1
合計	156
合計	168

収入の部

費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
前年度繰越金	2,612,804	2,612,804	0	
地区補助金	300,000	300,000	0	
クラブ負担金	1,783,200	1,783,200	0	800円×2,229人
登録料				
ロータリアン	400,000	320,000	△ 80,000	4,000円×80名
一般、IA、RAC	200,000	150,000	△ 50,000	2,000円×75名
雑収入	0	20,000	20,000	お祝い金
合計	5,296,004	5,186,004	△ 110,000	

支出の部

費 目	予 算 額	決 算 額	過 不 足	摘 要
RYLA運営費	735,000	716,771	18,229	
宿泊食事代	200,000	190,790	9,210	黒髪少年自然の家(宿泊・食事)
会場設営費	90,000	93,200	△ 3,200	会場看板、外看板
登録関係費	160,000	159,138	862	記念ボールペン、ホルダー他
懇親会費	35,000	34,483	517	研修後夜の懇親会
案内状・プログラム	150,000	156,160	△ 6,160	登録案内チラシ・ポスター、プログラム
運営輸送関係費	100,000	83,000	17,000	温泉タクシー(移動マイクロバス)
記念誌	900,000	902,120	△ 2,120	
記念誌製本費	750,000	740,120	9,880	280冊
写真・記録	50,000	54,000	△ 4,000	
記念講演DVD費	100,000	108,000	△ 8,000	280枚
記念講演、HUG研修、ゲーム	1,273,620	1,273,620	0	
記念講演料	1,233,620	1,233,620	0	植松努様講演料、交通費、記念品代他
防災士会、ゲーム吉永	40,000	40,000	0	佐賀県防災士会様、ゲーム吉永様
諸費	760,000	729,168	30,832	
会議費	200,000	196,900	3,100	準備会議、事前研修
保険料	50,000	49,766	234	損害保険(団体割引)
通信費	70,000	70,000	0	切手代、記録誌送付代
スタッフジャンパー	400,000	380,592	19,408	40枚(名入れ込み)
雑費	40,000	31,910	8,090	銀行送料手数料、文具
次年度繰越金	1,627,384	1,564,325	63,059	
合計	5,296,004	5,186,004	110,000	

クラブ奉仕戦略計画セミナー報告

＜8月6日(日) 於 東彼杵町教育センター＞

クラブ奉仕統括委員長 **高木 義和(島原RC)**

台風が目前に迫る前夜、講師横山守雄RPIC(大阪中央RC) パストガバナーをお迎えして、駒井ガバナー、岩永パストガバナー、久保委員長と晚餐の歓迎を開き、ロータリーの話題で盛り上がり、横山氏のお人柄に感銘しました。

台風の心配も無くなり、真夏の猛暑が覆う会場に、駒井ガバナー始め地区の要員、クラブ会長・幹事・クラブ奉仕・会員増強・IT広報・事務員合わせて250名の出席を動員してクラブ奉仕戦略計画セミナーを開催しました。

駒井ガバナー挨拶「今年度は五大奉仕委員会の中のクラブ奉仕にIT公共イメージ向上委員会を設けて地域に於けるロータリー活動の理解を図り、クラブ管理運営委員会を設け運営の充実と会員育成に力を注ぎ、会員増強と共に戦略計画を推進していきます。」と、クラブ奉仕の重大性を2委員会の新設として形にされ、変化をもたらす期待を受けることとなりました。

講師横山氏は、ロータリーは時代に追いつき適応し将来への備えをしていかなければならない。16年規定審議会に於いてクラブ運営の柔軟性が問われている、例会時間・オンライン活用・出席要件の緩和・会員種類を増やす・二重会員他戦略計画を詳しく示して載しました。東京御苑RCや大阪水都RCの新しいクラブの例は新鮮な驚きです。

休憩を挟み各分科会へ移動、会員増強分科会では佐藤豊委員長をリーダーとして第2720地区研修委員会副委員長中川貴夫氏とJAPAN.O.KロータリーEクラブ副会長片山勇氏がコメンテーターとして熱弁を受けました。IT公共イメージ向上分科会では久保泰正委員長をリーダーとして、また地区顧問岩永パストガバナーがコメンテーターとなりMy Rotaryの登録・クラブセントラル活用・地区ホームページの一般閲覧・四半期ごとの報告・情報広報活動の重要性を示しております。クラブ管理運営委員会では竹田健介委員長をリーダーに野口パストガバナーをコメンテーターとしてクラブのサポートと強化・刷新・柔軟・育成を図り、クラブが抱える問題や模索に詳しく答えられていました。

台風のその後が頭を霞め、横山氏を早めにお見送りし、17時までに点鐘を終え、地区の同士たちと撤収を完了。事故、延滞、不備無く完了したことは皆様のクラブ奉仕に対する熱意の賜物と感謝します。

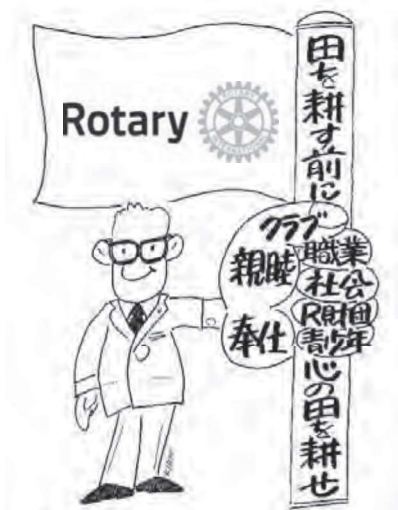
入って学ぶ4時間を消化するだけでなく、その栄養分を十分に吸い取って頂き、幹・枝・葉・花・実になるよう期待し、また、厳しい折はご相談ご協力を惜しまず57クラブのお役に立てるよう努力して参ります。

潮目が変わり、不変と変易、変えてはいけないものの変わらなければならないものを見極め「変化をもたらす」。地区の発展を心より願います。

〈第2740地区 1996～2017年度会員数推移〉

年 度	ガバナー	7/1	年度末	女 性	クラブ
96～97	牟田 勝輔	3 0 9 6	3 1 4 2	?	5 5
97～98	辻 洋三	3 1 5 5	3 0 9 4	2 3	5 6
98～99	野崎 元治	3 0 1 9	3 0 3 9	2 3	5 8
99～00	草場立太郎	3 0 8 2	3 0 2 2	?	5 8
00～01	武井 洋一	3 0 2 1	2 9 4 4	(5 0)	5 8
01～02	福井 順	2 9 4 6	2 8 5 4	6 1	5 8
02～03	隅田 達男	* 2 8 5 4	2 6 9 9	6 2	5 8
03～04	安部 直樹	2 7 0 7	2 6 2 6	6 2	5 8
04～05	栗林 英雄	2 6 3 0	?	6 1	5 8
05～06	本城 好春	2 5 3 1	2 4 2 1	6 0	5 8
06～07	田口 厚	2 4 2 1	2 3 8 2	6 5	5 7
07～08	野口 清	2 3 7 7	2 3 2 4	6 3	5 7
08～09	鈴木 泰彦	2 3 2 6	2 2 0 7	6 4	5 7
09～10	高城 昭紀	2 2 1 8	2 2 0 4	6 8	5 7
10～11	高原 武彦	2 2 0 3	2 1 9 9	7 1	5 7
11～12	岩永 信昭	2 1 9 8	2 1 6 3	7 4	5 7
12～13	福元 裕二	2 1 6 1	2 1 6 9	7 9	5 7
13～14	塩澤 恒雄	* 2 1 6 9	2 1 7 6	8 0	5 7
14～15	宮崎 清彰	* 2 1 7 6	2 1 9 1	8 0	5 7
15～16	宮崎清彰（太田）	* 2 1 9 1	2 1 8 8	8 1	5 7
16～17	崎永 剛	* 2 1 8 8	2 2 2 8	8 5	5 7

*前年度6月末と7月1日付が重なります



職業奉仕セミナーご報告

＜9月9日(土) 於 武雄センチュリーホテル＞

職業奉仕委員長 **吉岡 義治**(佐賀南RC)

晴天の土曜日、お忙しい中、多くの皆様にご出席いただき、ありがとうございました。
今回のセミナーも昨年同様、入会3年未満の方々を対象としたセミナーでした。

基調講演は福井県敦賀市より、第2650地区の刀根荘兵衛PGをお迎えし、

『職業奉仕の現状とその歴史…職業奉仕で変化をもたらす』

というテーマで、ロータリーの今までの歩みを振り返りつつ、これから先、国際社会の中で、日本のロータリアンはどのようにして進むべきか、どうあるべきか、を休憩をはさみ、スライド200枚超の2時間という、中身の濃いお話しをしていただきました。

今一度、職業奉仕の原点であるシェルドンの哲学を振り返りながら。これからの21世紀の職業奉仕の在り方について議論することは意義あることです。特に21世紀は共生社会、心の資本主義と言われる中で、是非、日本のロータリアンから世界に向けて、

『セルフレスの心で個人の利益を超えて社会全体の利益を考える』

ソーシャルビジネス型のビジネスモデルや職業理念を発信することが、こらからのロータリーの発展につながるのではないかと結ばれました。

国際ロータリーの2016年規定審議委員会において、一部変更がありました。

第6条5大部門にそれぞれの部門の奉仕のあり方が明記されております。その中の第2項・職業奉仕の規定に団体活動も追加されました。

違和感をもって観られる方も多い中、世界のロータリアンのスタンダードとの違いを認識しつつ、今後のロータリーライフを模索したいと考えました。



青少年奉仕統括セミナー報告

青少年奉仕統括委員長 **奥村 豊** (唐津RC)

2017年9月10日(日) 有田ポーセリングパークにおいて駒井英基ガバナーをはじめ、6人のガバナー補佐、地区青少年部門委員長、委員それに各クラブの青少年部門委員長95名各位の出席の下、セミナーを開催しました。

昨年度のセミナーは危機管理を中心に議論しましたが、本年度は、ここ2、3年を振り返って各委員会の活動を精査し実情と将来像を報告してもらいました。特に今年度は各クラブにはインターアクト、ローターアクト、交換留学生など関わりがないクラブも現在の実情と将来像を十分ご理解を頂き、ご協力をお願いするためのセミナーでありました。

(1) **〈国際青少年交換委員会〉** 昨今留学希望の学生が減少して苦戦している。また来日学生受け入れのクラブも経済的等の理由で減少していますが、単一クラブの受け入れだけでなく地域の複数のクラブ合同の受け入れも可能かと思う。

(2) **〈インターアクト委員会〉** 現在2740地区では、前年度、佐世保工業高等専門学校インターアクトクラブ(佐世保北RC提唱)が新しく発足され、21のロータリークラブが提唱する22インターアクトクラブが活動している。今年度は、既存のインターアクトクラブの部員の減少に歯止めをかけ活性化をしながら一つでも新しいインターアクトクラブを発足させられるように、まだ提唱クラブをお持ちでないロータリークラブに是非インターアクトクラブを提唱して頂くよう、お願いして拡大をしていきたい。地区の委員会では、アクトの活動が円滑に継続して行われるように、アクトと顧問教師を対象に、年2回の指導者研修会を実施します。また、今年度で35回目になります年次大会を有田工業高校(有田RC提唱)ホスト校で盛会に終わりました。次年度は全国インターアクト研修会を福岡で開催されるが、九州4地区でホストをするので今年度から準備している。



(3) **〈ローターアクト委員会〉** 青少年の4委員会が共通して懸念しているところは私達ロータリアンが、どのくらい青少年に関心をもっているかという点。インターアクトからローターアクトへと引き継いで行かれるはずと思っていたが、現実には厳しく、ローターアクトのクラブ数は年々減少している。何とかしたい、積極的に関わり合い、健全な育成に取り組まなければならない。

(4) **〈RYLA委員会〉** ①RYLAについて ロータリー青少年指導者養成プログラムの略。参加者の年齢制限はなくなったが、主に14歳から30歳迄の若者が集まり、リーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ集中研修プログラムである。地元地域やその範囲を超えて活躍できる若き有望なリーダーを指導する機会である。ロータリアンの役割は職場や地域社会のリーダーとなる道を開くため若者を導くこと。当地区では、1泊2日で行われており、リーダーの養成は重要課題ですが、他に参加青少年とロータリアンとの交流、又は青少年間での異業者交流を通して地区の青少年活動が活性化される事もRYLAの大切なテーマであると考えてる。

②RYLAの実情について RYLA開催については、本年5月に伊万里RCにて、来年第39回は多久RC、第40回は島原南RCがホストクラブとして開催が決定。尚、各開催予定ロータリークラブからRYLA地区委員として活動していただくことになっている。

③予算について 収入としては、2740地区全員全てから1人当たり800円の負担を頂き（凡そ170万円、補助金並びに登録料の合計で、1開催当たり250万円程度の予算にて開催。2740地区内全員からの開催費用の負担を義務づけられているRYLAについて地域での指導者養成活動がロータリーにおいて大事かがご理解いただけたと思う。（委員会報告は敬語略）

質疑応答も前向きな意見で実のあるものでした。

最後に挨拶を頂いた駒井英基ガバナーから講評までいただき、充実したセミナーになったと思います。皆様のご参加と熱心な協議ありがとうございます。感謝



米山の集い

米山記念奨学地区委員 **永田 章** (北松浦RC)

地区米山記念奨学委員会の行事として、10月1日(日) 九十九島ベイサドホテル&リゾートフラッグスを会場に2017～2018年度「米山の集い」が開催され、米山奨学生・カウンセラー・大学関係者およびロータリー関係者37名が参加しました。

芦塚地区委員の総合司会のもと、斉唱の後、大家地区委員長の開会挨拶に始まり、牧地区委員より来賓及び参加者紹介が行われ、続いて福田ガバナーエレクトより来賓挨拶が行われ、「折角の機会だから、関係者との交流を深めてほしい」と式辞を述べられました。さらには、「財団設立50周年記念DVD」の上映も行われました。

「米山奨学事業について」と題し、栗林米山記念奨学会理事から講話があり、「平和に取り組む姿勢を知ってもらうものであること、卒業生からも寄付があること、地区の目標が1人平均1万6千円であること」などを話されました。

また、大家地区委員長より地区の現状について説明が行われ、米山記念奨学会活動の取組み等について参加者と共有しました。

記念写真の後、懇親会に入り、栗林米山記念奨学会理事より乾杯の挨拶においてホシザキ電気(株)より上場にあたり1億3千万円を、そして株式配当金の45%を寄付頂けた事を御報告されました。

各奨学生と担当カウンセラーによる発表が行われ、奨学生からは近況と米山記念奨学事業に対する想いを、カウンセラーからは奨学生の紹介が行われました。続いて学校関係者より挨拶が行われ、西九州大学 健康福祉学部 田中豊治教授より「この機会を通してアジアと日本の架け橋になってほしい。」と、また、長崎大学 国際教育リエゾン機構事務室 松尾孝浩主査より「アジアの中の九州としないと生き残れない。教育のグローバル化に取り組んでいきたい。」とおっしゃいました。続いて米山記念奨学会・学友会ジョーカイホウ副会長より「学友会に入って交流ができたうれしい。」と、さらに増本次年度地区幹事より総評として「人生は一期一会、今日の出会いを活かし楽しい人生を送ってほしい。」とそれぞれおっしゃいました。

最後に本多地区委員からの閉会のことばにより、2017～2018年度「米山の集い」は終了しました。



ロータリアンの皆様へ

ロータリー米山記念奨学事業は、日本の全ロータリー地区が参加する「多地区合同奉仕活動」であり、全国のロータリアンからの寄附金で支えられています。



公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
Rotary Yoneyama Memorial Foundation

インターアクト前期指導者研修会報告

インターアクト委員長 松田 洋一（諫早北RC）

10月7日（土）13時より第2740地区インターアクト前期指導者研修会が長崎県東彼杵町総合会館で開催されました。

前日の夜中、私は胆石から胆嚢炎を発症し、緊急入院となり、皆さんに大変ご迷惑をお掛けしました。

まず、講師を愛知県からお招きしていたのですが、面識があるのが私だけだったので、空港迄迎えに行く様にしていたのですが、それを地区委員の方に代わって貰い、研修会の委員長挨拶をLINEで送って代読をして貰いました。関係者の皆様には、ご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げますと共に、ロータリアンの助け合いの心に感謝を申し上げます。研修会の内容を地区委員の徳川さんより具体的に報告を受けましたので、載せさせていただきます。

研修会は駒井ガバナーの点鐘に始まりプログラムに沿って進められ、『奉仕の先にあるもの』と題して愛知県中部大学春日丘高等学校渉外部教諭の松本誠太様に講話をして頂きました。松本先生は、インターアクトクラブの顧問となられて8年間指導されております。このクラブの特徴は、活動の企画から実行に至るまでの殆どが、生徒たちの自立した活動となっており、先生は終始アドバイス程度になっているとの事で、もっぱら外部団体等の折衝（営業活動）に終始されているとの事でした。活動内容は、クラブ理念「目の前の人たちを笑顔にさせる事」を掲げ、部員数66名と共に年間300回を超える活動回数で、主に高齢者・障害者施設養護学校、学童保育へ訪問し、外出支援や遠足支援、読み聞かせや地域イベントに参加し、物販のお手伝いやステージでのダンス披露等を、年間50ヶ所の施設や地域で活動を行っているとの説明がありました。

そして、クラブの生徒たちもお互いを尊重し、理解し楽しく活動を行っていますとの事で、その活動から得られる経験や人間力が、やがてその生徒たちの人生に大きく影響しているとの事でした。活動シーンもプロジェクターで映写され大変参考になりました。又、一番興味深かったのは、自分達の活動費を祭りのイベント等で、バザーや有料のゲーム等をして、一部を自分達で賄っていると云う事でした。その後、生徒達とロータリアン、顧問の先生方がそれぞれ4グループに分かれ、「奉仕の先にあるもの」をテーマにグループディスカッションを実施し、それぞれ4グループ代表者がまとめの発表を行い、顧問の先生からは今年度参加された全国大会の模様を発表と合わせて、来年度、福岡市で開催される同じ全国大会の開催内容に触れられ、「何をメインにするのか?」「顧問の先生方々同士の話し合う機会が必要では?」等のご意見を頂きました。

生徒達からは、他校のIACと交流をする機会を増やして、部員の少ないクラブと合同で活動をしたら良いのでは等の意見も出ていました。

今後、改めて検討する課題も見えたと思います。



ガバナー公式訪問クラブ報告

太良RC 9月7日 (木)

会長 久保 信弘 幹事 秀島 寛

2017年9月7日(木) 第1081回例会は国際ロータリー第2740地区駒井英基ガバナー、第3グループ花島光喜ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えして公式訪問を開催致しました。

当日は例会に先立ちクラブ協議会、会長、幹事、会長エレクトの懇談会が行われ当クラブの概況報告、クラブ運営方針を説明させて頂きました。

駒井ガバナーから組織表を変える事と、少年野球、中学生ソフトテニス大会の継続とマスコミに奉仕活動取材依頼書の提出等の指導頂きました。

その後例会では駒井ガバナーによるRIのテーマ「ロータリー：変化をもたらす」地区運営方針「地域社会にも変革を!」を含むRIのテーマに対する地区運営方針を分かりやすく、具体的に説明頂きました。

公式訪問後、1名(来年度)新入会員の獲得が出来ました。あと1人頑張ります。

最後に駒井英基ガバナー、花島光喜ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事のご公式訪問に感謝申し上げますと共に、この1年間のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。



長崎出島RC 9月8日 (金)

会長 松園 隆 幹事 佐伯 秀人

さる9月8日(金)、駒井英基ガバナー、第10グループ山口善生ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち行われた懇談会では、当クラブの運営方針及び概況について説明をさせて頂き、その中で当クラブの単独事業である児童養護施設を支援するプロジェクトや女性会員とのコミュニケーション等の質問を受け、意見交換と様々なアドバイスを頂戴することができました。

例会開始の際には、全員起立のうえ拍手をもって御一行をお迎え致しました。ガバナー卓話におきまし

ては、本年度のRI方針や地区運営方針、RIの定款・細則の変更に伴うクラブの在り方、ロータリーの公共イメージと認知度の向上、マイロータリーの登録メリット等をパソコンを駆使しながらわかりやすく説明をして頂きましたので、会員にとりまして大変有意義な例会となりました。

このように、今回のガバナー公式訪問例会は和やかな中にも緊張感のある当クラブらしい雰囲気をもって無事に終えることができました。駒井ガバナー、山口ガバナー補佐、笠地区幹事のご来訪に心より感謝し、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎みなとRC 9月12日 (火)

会長 松尾 龍彦 幹事 本多秀一郎

9月12日(火) 駒井英基ガバナー、山口善生ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。例会に先立ち、会長、会長エレクト、幹事との懇談会では、クラブの現況と活動計画、運営方針を説明しました。ガバナーより、活動計画は上手く出来ている、大いに活動していただきたい。活動を活発化する事でクラブの認知度も向上し、会員の増加も図られる。

親睦会だけでは必ず会員は減少する。また、活動に際しては、クラブの名前を出してもらい、事前に新聞社などに取材依頼するようにしてほしい、などご指導を頂きました。

例会では、5年間の戦略計画、来年から5つの委員会をおく事、クラブ定款は細則まで受け入れる、MY ROTARYは百科事典、ロータリーの樹

2017の意味、等をお話し頂きました。

ご訪問を機会に、会員一同がRIのテーマに沿って、1つでも変化をもたらす1年にして参ります。

駒井ガバナー、山口ガバナー補佐、笠地区幹事に、心より感謝申し上げますと共に、引き続き、ご指導よろしくお願い致します。



諫早西RC 9月13日 (水)

会長 塚原 浩三 幹事 山本 健志

9月13日(水)に駒井英基ガバナー、笠慶宣地区幹事、小野秀喜ガバナー補佐、随行者の江副了佐賀南クラブ会長エレクトをお迎えしてガバナー公式訪問を開催いたしました。

例会に先立ち、当クラブ幹事、会長エレクト、第二副会長、会長の私との懇談会では当クラブの概況、運営方針等を説明させていただきました。

そのうちの青少年奉仕事業のミニバスケットボール教室&ミニバスケットボール大会、国際奉仕事業のダービースクールと諫早市内の小学校との交流会の説明をしまして、駒井ガバナーより、いくつかの質問と広報の利用等に関してのアドバイスを頂き、緊張のなかにも笑いありで、無事に懇談会を終了することができました。

例会では、駒井ガバナーのユーモアを含めた、アメリカでのこととか、貴重なお話を頂き和やかな雰囲気のなか公式訪問が終了しました。

残暑厳しい中での公式訪問に対して会員一同感謝申し上げますとともに、今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



大村北RC 9月13日 (水)

会長 庭木 秀男 幹事 上田 善行

駒井英基ガバナー、吉田秀隆第7グループガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えし公式訪問例会を開催しました。例会に先立ち会長、幹事、会長エレクトが参加して懇談会を開き、当クラブの概況報告や運営方針等を説明し、アドバイスを頂きました。

一番の悩みは、会員増強のことで、現在19名を如何にして増強するかであり、会員全員で知恵を出し合い、積極的に働きかけていく決意を表明しました。

駒井ガバナーからは、常設委員会の配置が今までと異なるので、今後適切な委員会の構成を図ること、また、積極的な奉仕と広報を諮るよう指導助言を頂きました。

例会では、駒井ガバナーより、RIの方針や地区運営方針について簡潔で明快な卓話を頂きました。

駒井ガバナーはじめ皆様の公式訪問に感謝致しますとともに、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



多久RC 9月14日 (木)

会長 永石 喜八 幹事 古井 俊路

平成29年9月14日(木)、駒井英基ガバナー、八頭司博ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事、奥田律雄副事務局長をお迎えして、公式訪問例会を開催しました。例会前の懇談会では、当クラブより会長・幹事・会長エレクト・副幹事が出席し、幹事が当クラブの現況報告・活動内容・活動計画等説明いたしました。駒井ガバナーより、RI規定審議委員会での規約改訂への対応、来年度からは新しい定款に基づいて運営を行うこと、これから5年間のクラブの目標を立てること等のご教示を頂きました。例会での卓話では、RIの戦略計画やロータリーの目的、地区運営方針、ロータリーの世界的な優れた活動について、わかりやすく御説明頂きました。当クラブも目標を定め、時代の

変化への対応に取り組んで参りたいと思います。

駒井ガバナーはじめ皆様方の公式訪問、誠に有難うございました。会員一同心より感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保南RC 9月15日(金)

会長 小川 信 幹事 矢次 保夫

平成29年9月15日(金)、国際ロータリー第2740地区 駒井英基ガバナー、国際ロータリー第2740地区第6グループ 前田和隆ガバナー補佐、国際ロータリー第2740地区笠慶宣地区幹事にご来臨、佐世保南ロータリークラブ第2912回例会を開催いたしました。

例会に先立ち、小川会長・中島会長エレクト・矢次幹事を交えて懇談会を開催し、当クラブの概況報告、活動計画の説明をさせていただきました。

ガバナーからは、標準定款の採用や五大委員会の設置についての助言がありました。また、当クラブの継続事業である国際青少年交換学生については、1968年度より派遣・受け入れをクラブ事業とし、間数年間空くことは多少あったが、近年ほぼ毎年度行なっている現状に、高い評価を受けるとともに、この事業の持つ課題や問題点について協議することができました。

公式訪問例会でのガバナー卓話は、ウイットにとんだ語り口で場内に笑いが漏れる一幕もありました。クラブ定款と細則やクラブ常任委員会・理事構成の変更、公共イメージと認知度向上などについて、会員一人一人

が深く理解することができました。また、MyRotaryの登録者を増やして欲しいとの要望を受け、担当委員会を決めて対応していくようにしております。

創立60周年を迎える当クラブですが、RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」、地区運営方針「地域社会にも変革を！」を念頭に置いて、変化・変革のある組織作りや運営に邁進していきたいと思っております。

駒井ガバナー、前田ガバナー補佐、笠地区幹事、公式訪問ありがとうございました。今後の御健勝と御活躍を祈念しております。



諫早多良見RC 9月19日(火)

会長 橋本 満典 幹事 馬來 直志

9月19日(火) 駒井英基ガバナー、第8グループ 小野秀喜ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、橋本会長、石田会長エレクト、馬來幹事と懇談会を行い、当クラブの概況、運営方針を説明させていただき、質疑応答では活動内容について、先日の諫早のんのお祭における『ポリオ撲滅PR』の為の出店、10月予定の『聖母の騎士園との交流活動』には激励と指導をいただきました。またこういった活動をPRの為、取材を受けるようアドバイスをいただきました。

例会においては、駒井ガバナーより、本年度RIテーマ

「ロータリー：変化をもたらす」、地区運営方針「地域社会にも変革を！」を含むRIテーマに対する運営方針の考えを卓話いただきました。特に、定款、細則の変更に伴う各クラブの戸惑いに対し、わかりやすく説明いただきました。また、他団体との違いを話され、職業奉仕のあり方の大切さが理解出来ました。

今後、クラブの活動をアピールするべく、クラブセントラルやマイロータリーの登録など、ロータリーをより理解できるよう目指します。

駒井ガバナーをはじめ皆様の公式訪問に感謝し、皆様のご健勝を祈念し公式訪問の報告とさせていただきます。



白石RC 9月20日(水)

会長 大田尾一美 幹事 山口 繁喜

9月20日(水)、駒井英基第2740地区ガバナー、笠慶宣地区幹事、花島光喜第3グループガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。総勢4名のお客様を会員3名でお迎えし、通常例会の倍以上の人数での開催となりました。

当クラブが置かれている現状、とりわけ会員数の減少(現在会員数5名、例会出席者3名)は会運営に重くのしかかり存続の危機になっている事、各セミナーほか地区及びグループ主催の行事への複数参加ができない事等を訴えました。ガバナーからは当クラブの管理運営について、現に新しい組織づくりが出来ているとお褒めの言葉をいただきました。

ロータリーの広報活動として、白石クラブに出来る事を考えて行動して、新聞掲載にもっていけるようにして欲しいと課題のなげかけがありました。

駒井ガバナー、笠地区幹事、各委員会の委員の皆様のご苦勞に感謝し、今後の活躍を祈念しております。



福江RC 9月22日(金)

会長 中村 吉廣 幹事 才津 喜彦

平成29年9月22日(金)、駒井英基第2740地区ガバナー、中村重敏第9グループガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当日は長崎空港より空路にて、9時55分五島椿空港に到着予定でしたが、「使用機故障の為欠航、2便に変更しますがこの便も遅れる見込みです。」との笠幹事からの連絡がありました。結局はこの便は55分遅れの12時10分到着で、例会開始20分前、急遽予定を変更して、例会終了後に懇談会を開催することになりました。

例会では、駒井英基ガバナーによる講話を行って頂き、RIテーマとイアン・ライズリーRI会長のメッセージ『ロータリー：変化をもたらす』をわかりやすくご説明頂き、地区運営方針である『地域社会にも変革を!』の方針、クラブとしての取り組みをわかりやすく講演していただきました。

その後、順番が逆になりましたが、当クラブの会長、副会長、会長エレクト、幹事が参加しての懇談会が行われ、当クラブの概況報告やクラブ運営方針の説明をさせて頂きました。

駒井ガバナーからは昨年のRI規定審議委員会での規約改定への対応や、地域社会に認知されるロータリーを目指しての活動・広報の重要性について、ご教示頂きました。クラブセントラル、マイロータリーの登録など、ロータリーをより理解できるように目指したいと思います。

熱心な意見交換は当初30分の予定を超えて盛り上がり、楽しい懇談会となりました。

駒井英基ガバナー、中村重敏ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事には、この度のご来訪に感謝申し上げますとともに、一年間のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告

福江中央RC 9月22日(金)

会長 江口 正則 幹事 富川 吉夫

9月22日(金)に、駒井ガバナー・中村ガバナー補佐・笠地区幹事の3名に当クラブへ公式訪問していただきました。

例会に先立ち会長・副会長・幹事との懇談会を行いました。

委員会の構成・米山記念奨学会・ロータリー財団に対する寄付金の累計額等・活動計画報告書に、丹念に目を通して頂き寄付金額についてお褒めの言葉を頂きました。

委員会組織については、御指導いただきました。

ロータリーの公共イメージと認知度の向上を目指すとしてクラブの運営に積極的に取り組むように説明して頂きました。

御指導を受けた事項については、理事会に諮って改善方法を検討したいと思います。

例会では、プロジェクターを使って世界大会の様子、RIのテーマ、地区運営方針とクラブのサポート強化についての説明と限られた時間でしたが、映像とエピソードを交えた具体的な説明で、

会員の理解は深まったものと思います。

離島ゆえの特別な事情で、翌日、お帰りなるまでの時間等を通じて色々なお話をさせて頂きました。

この会話を通じてクラブの進むべき方向を暗示して頂いたような思いと五島の地を皆様に知って頂く機会になったように思います。

飛行機のトラブルで、時間が取れたことが、私どもには幸いしたと考えております。

五島と言う交通の便が悪い中、当クラブを訪問して頂きありがとうございます。



長崎北RC 9月25日(月)

会長 中部 省三 幹事 鈴木 茂之

去る9月25日、駒井英基ガバナー、山口善生第10グループガバナー補佐、笠慶宣地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち行われた当クラブ会長、会長エレクト、幹事、副幹事との懇談会においては、当クラブの概況、運営方針等について説明をさせて頂き、その後駒井ガバナーよりRIからの要望等をお伝えいただき、有意義な意見交換をすることができました。特に当クラブ独自の留学生に対する奨学金制度である国際交流基金については高い評価をいただきました。また、委員会組織の再編についての当クラブの考え方を説明し、アドバイスをいただきました。

その後の例会では、駒井英基ガバナーによる卓話を行っていただき、本年度RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」と地区運営方針「地域社会にも変革を！」についてわかりやすくご説明いただきました。



ハウステンボス佐世保RC 9月26日(火)

会長 佐々木茂彦

幹事 中川 英俊

2017年9月26日(火)、駒井英基ガバナー、前田和隆ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事、江副了佐賀南RC会長エレクトをお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、会長(佐々木)、幹事(中川)、会長エレクト(江副)との懇談会を行い、当クラブの現況、今年度の運営方針及び、活動計画について報告させていただきました。

本クラブは、会員数23名、今年度創立22周年となること、ガバナーからの要請でもあった、「マイ・ロータリー」登録25%をクリアし現状登録35%となっていること、また、例年行っている釜墓地清掃活動については、報道機関宛、奉仕活動取材依頼書を提出し、ロータリーの広報活動にしようとのこと意見もいただきました。毎月1回の夜例会の開催、年4回の家族同伴例会の開催で、小さいクラブならではの家族を交えた懇親を図っていることのご報告、近隣クラブ(東クラブ)との合同例会開催もあわせてご報告しました。

例会は、駒井ガバナーよりプロジェクターによるRI会長方針(変化をもたらす)の解説、地区方針(地域社会にも変革を!)の具体的な説明と卓話をいただきました。

ガバナーの卓話では、ポリオ撲滅も後2~3年で達成し、ノーベル賞に値する奉仕である事、また、以前から行っている教育、医療、水の奉仕についてもロータリーは箱モノを作って終わりではなく、その後の育成に重点

を置いて活動しているとの説明をいただき、会員全員が、ロータリアンの誇りを持って活動していただきたいとお話をいただきました。

駒井ガバナーの公式訪問によりRIの国際的な広がりや奉仕活動を再確認でき、2740地区の連携を深めることができ、ハウステンボス佐世保RCの更なる連携が深まりました。

会員に有意義な公式訪問例会となりました。ありがとうございました。

会員一同感謝いたしております。



島原南RC 9月27日(水)

会長 森

誠

幹事 赤司 智子

9月27日(水)、駒井英基ガバナー、第7グループ吉田秀隆ガバナー補佐(当島原南ロータリークラブ)、笠慶宣地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会を行い当クラブの概要や現況、クラブ運営方針を説明し当クラブの問題点や質問に丁寧にわかりやすくアドバイスをいただきました。

例会の駒井英基ガバナーの卓話では、プロジェクターを使っのRIテーマ「ロータリー:変化をもたらす」、地区運営方針「地域社会にも変革を!」についての話をされ、ロータリーの公共イメージと認知度向上を目指すことの大切さを説明してい

たきました。

最後に駒井英基ガバナー、吉田秀隆ガバナー補佐、笠慶宣地区幹事のご健勝とご活躍を祈念し、今後ともご指導宜しくお願い申し上げます。



速報

国際ロータリー第2740地区 地区大会

平成29年11月17日(金)・18日(土)

皆様のご参加ありがとうございました。





国際ロータリー第2740地区クラブ会長 各位

2020～2021 ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第14.020.4項により、2020～2021年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2018年3月15日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦下さい。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事はその決議を証明する形で推薦書を提出して下さい。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第16.070項を参照下さい。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニー・デジグネートになります。

ガバナー 駒井 英基





Rotary Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター 2017年11月号

発行: Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
第3ゾーン担当

3年に一度、世界中全ての地区から代表議員がシカゴに集まり、規定審議会が開催されます。これは、ロータリーの組織運営にクラブの声を反映させる機会です。

今年から決議審議会が、毎年オンラインで開催されるようになりました。決議案とは、組織規定文書に記載されている事柄の範囲外で、RI理事会またはロータリー財団管理委員会による決定を求めるものです。また、ロータリー世界に影響を与える提案が求められています。今回世界から提案された決議案は38件で、そのうち19件が日本から提案されました。日本のロータリアンがいかにロータリーのルールに関心を持ち、今後のロータリーのことについて考え、意見を述べようとしているのか如実に物語っていると思われる。これからも規定審議会に関心を持ち続けて頂きますようお願い致します。

国際ロータリー理事エレクト 三木 明

地区・クラブ戦略計画立案の重要性

「地区・クラブ戦略計画の立案」「地区・クラブ会員基盤の向上・活性化」が様々な機会に唱えられてから既に多くの時間が経過致しました。皆様方の地区、或いはクラブの「戦略計画委員会」は発足してその役目を果たしているでしょうか？

「戦略計画委員会で何をしたら良いのか？」という声をしばしば耳に致します。ロータリークラブは、これまで単年度制で運営されてきましたが、これからは3年、或いは5年スパンの継続された目標を立て地区・クラブの運営を行い、双方の活性化を図ることが推奨されています。2016年4月の規定審議会においても「クラブの目的・目標を明確化する(16-06)」ということが決定しています。皆様方の企業は、縦系列の統治組織により継続的な中長期計画に基づいた事業の管理運営が可能であり、これが功を奏し事業が発展していると考えます。しかし、ロータリークラブの組織運営は各年度の理事会による単年度制であり、組織の中長期目標の立案・実施が極めて難しいのが現状です。故に、地区・クラブ戦略計画委員会、並びにそこで立案される中長期目標＝戦略計画、及びその実施が必要となってくる訳です。

地区戦略計画委員会は、地区の目標立案の大切なことですが、地区内各クラブに戦略計画委員会を設立するための支援、設立した後のフォローが大切な活動でしょう。

クラブ戦略計画委員会での検討項目は、①クラブの使命・価値観・VISION・魅力を見出し、中長期目標を立案・実施、②ロータリー学友など若い世代・女性会員の比率の向上・奉仕意欲のある退職者などの入会予定者の発掘を図り、会員増強・維持・これ以下対策を検討、③クラブの財政問題・運営方法の検討、④会員研修の方法、⑤会員参加型の奉仕活動のあり方の検討、⑥クラブ内外への広報活動のあり方、等が考えられます。

クラブ戦略計画委員会の運用時の留意点としては、①クラブ理事会がクラブの管理主体であり戦略計画委員会は諮問の立場である、②戦略計画は会員全員参加で立案、③戦略計画委員会は活動の進捗状況を理事会、会員に説明する責任がある、などでしょう。

地区・クラブ戦略計画委員会において、地区・クラブ中長期計画＝戦略計画を立案し、地区・クラブの更なる発展、また日本のロータリーが復活することを願います。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 高島 凱夫

ロータリー： 変化もたらす

第2710地区
ガバナー藤中秀幸
「ロータリーの心で
地域の創生を！」
「ロータリーの元気は
地域の元気」

第2740地区
ガバナー駒井英基
「地域社会にも変革を！」

「公共イメージ向上」地域社会における広報活動

各クラブはそれぞれの地域社会で意義ある活動を毎年度幾つか進めておりますが、自分達の活動を一般社会へ広報し、ロータリーの存在を理解して貰うという意識が概して希薄であります。また殆どのクラブは報道機関との関係を持ち合わせておりませんから、第3ゾーン各地区では報道機関へのアクセスを維持している地区広報委員会がクラブに代わりマスメディア各社との取材折衝を支援することを推奨しております。最近ではクラブから地区委員会に対する取材依頼が徐々に増えているとの報告を各地区より受けております。

ところで、各クラブはクラブ定款上で「クラブの所在地域」を定めることになっておりますが、近年はその意識が、特に大都市に存在するクラブではかなり薄くなっています。これは会員候補者を出来るだけ広範囲の地域で見出したいという各クラブの会員増強上の思惑もあります。以前は各クラブがカバーする地域は、細かいところまで線引きが行われていました。クラブの所在地域は、英文定款では、「Locality of the Club」になっています。その原文の響きからはロータリークラブの存在はローカル制であることが感じ取れます。

地方に存在するクラブは地域社会に密着した数々の活動を展開されておりますが、その活動が地方紙やTV局で広報されることは件数的には限られております。一方、市町村が毎月、或いは定期的に発行しております「市町村便り」に地元ロータリークラブの活動の様子が掲載されれば、地元クラブの会員増強や、RACやIACなど青少年活動の大きな支えになります。各クラブの所在地域での地方行政機関などとタイアップした広報活動は、マスメディア向けの広報以上に地域社会の人々と、その地域をベースにするロータリークラブの両方により良い効果を齎します。各クラブでこの様な地域社会に密着した広報への取り組みについてもご検討ください。

地域社会の活動に重点を置かれている本年度地区ガバナーお二人の活動スローガンを左のコラム内に記載させて頂きましたのでご参照ください。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山 守雄

文庫通信 (362号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの精神

- ◎「ロータリーの精神」 ビチャイ・ラタクル 2017 6p
(D.2680地区大会記録誌)
- ◎「奉仕の理想と自利利他と黄金律」 吉田雅俊 2017 1p (D.2580月信)
- ◎「一業一会員制と親睦の関係」 玉井清治 2017 1p (D.2510月信)
- ◎「ロータリーの魅力ー元R.I.理事今井鎮雄、ロータリーを語る」
神戸西R.C. 2004 [178p]
- ◎「ロータリーの社会奉仕」 武田和夫 2011 2p (航跡IV)
- ◎「ロータリーからのプレゼント」 長崎南R.C. 1998 8p
- ◎「世界中でよいことをしてきた100年ーロータリー財団100周年記念イベント特集」
D.2770 2017 31p
- ◎「ポリオ・プラス活動15年の歩み」 中井義尚 D.2640 2001 36p
- ◎「ロータリーデー」 D.2770 [2015] 39p
[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。

8・9月入会

佐賀西RC



園田敬二 君
九州電力株式会社佐賀営業所
所長

佐世保南RC



角田隆一郎 君
スミダ企画
代表

佐世保東RC



岡 末広 君
有限会社 岡佛檀店
代表取締役

佐世保東南RC



川上貴之 君
有川建設
取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証者リストに基づき寄付者をご紹介します。ご厚意に深く感謝申し上げます。

■ ロータリー財団

種 類	氏 名	ク ラ ブ 名
メジャードナー	前田 一彦	佐 世 保 南
ベネファクター	前原 晃昭	長 崎
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	金武 良弘	佐 賀 南
	笠 慶宣	佐 賀 南
	松浦 孝明	松 浦
	朝永 春郎	松 浦
	藤永 辰弘	佐 世 保 南
	花田 勝美	島 原
	千葉 憲哉	諫 早 北
	神之浦 潔	福 江 中 央
	中嶋 久光	長 崎 北
	馬場 政廣	長 崎 東
ポール・ハリス・フェロー	岡田 康信	長 崎 中 央
	太田 博道	佐 世 保 南
	下川 弘樹	佐 世 保 南
	森山 隆明	佐世保東南
	御厨 善光	諫 早 西

■ 米山記念奨学会

種 類	氏 名	ク ラ ブ 名
メジャードナー	川野 恒雄	諫 早 北
	馬場 政廣	長 崎 東
マルチプル	成清 啓二	佐 賀 南
	鐘ヶ江輝昭	佐 賀 南
	菰田 秀三	佐 賀 南
	園田 嘉生	佐 賀 南
	岡崎信一郎	佐 賀 南
	安達 健蔵	長 崎
	神之浦 潔	福 江 中 央
	中嶋 久光	長 崎 北
	本田 徳光	長 崎 中 央
功労者	神代 剛	佐 賀 南
	谷口 優	武 雄
	山口 富嘉	佐 世 保 南

2017年9月 会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月				累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第1グループ	佐賀	4	73.7	73	2	73	2	0	1	-1	0	
	小城	4	74.9	27	2	29	2	0	0	0	2	
	牛津	4	69.2	32	0	32	0	0	0	0	0	
	多久	4	83.0	37	4	38	4	0	0	0	1	
	佐賀大和	4	69.9	26	5	27	6	0	0	0	1	
	小計		74.1	195	13	199	14	0	1	-1	4	
第2グループ	佐賀西	3	73.3	39	2	41	2	1	0	1	2	
	佐賀北	4	73.8	43	2	45	2	0	0	0	2	
	佐賀南	4	83.5	41	3	42	3	0	0	0	1	
	神埼	4	72.2	41	4	41	4	0	0	0	0	
	佐賀空港	3	62.5	16	1	16	1	0	0	0	0	
	小計		73.1	180	12	185	12	1	0	1	5	
第3グループ	有田	4	75.0	31	0	32	0	0	0	0	1	
	武雄	3	92.9	56	4	56	4	0	0	0	0	
	鹿島	4	97.0	33	4	33	4	0	0	0	0	
	嬉野	4	84.8	28	2	28	2	0	0	0	0	
	大町	4	65.6	16	0	16	0	0	0	0	0	
	白石	4	70.0	5	0	5	0	0	0	0	0	
	太良	4	100.0	10	0	10	0	0	0	0	0	
	小計		83.6	179	10	180	10	0	0	0	1	
第4グループ	唐津	4	90.0	57	0	59	0	0	0	0	2	
	伊万里	4	90.0	28	0	30	0	0	0	0	2	
	唐津東	4	87.0	51	0	53	0	0	0	0	2	
	唐津西	4	92.5	31	0	32	0	0	0	0	1	
	伊万里西	4	95.4	44	0	44	0	0	0	0	0	
	唐津中央	4	91.7	38	4	38	4	0	0	0	0	
	小計		91.1	249	4	256	4	0	0	0	7	
	第5グループ	佐世保	4	100.0	79	0	80	0	0	0	0	1
平戸		4	76.8	34	2	33	2	0	0	0	-1	
佐世保西		4	90.2	24	2	25	2	0	0	0	1	
北松浦		3	88.3	26	0	26	0	0	0	0	0	
松浦		5	90.6	28	1	30	1	0	0	0	2	
小計			89.2	191	5	194	5	0	0	0	3	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月				累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	4	100.0	74	0	74	0	1	0	1	0	
	佐世保東	4	83.9	21	0	22	0	1	0	1	1	
	佐世保北	3	95.7	42	1	44	1	0	0	0	2	
	佐世保中央	4	87.8	45	1	45	1	0	0	0	0	
	佐世保東南	4	70.0	28	0	31	0	0	0	0	3	
	HTB佐世保	4	88.9	23	3	23	3	0	0	0	0	
	小計		87.7	233	5	239	5	2	0	2	6	
第7グループ	大村	4	82.3	51	3	51	3	0	0	0	0	
	島原	4	77.0	26	2	25	1	0	0	0	-1	
	雲仙	4	93.1	19	1	19	1	0	0	0	0	
	大村北	4	96.9	20	1	19	1	0	0	0	-1	
	島原南	4	71.7	27	1	27	1	0	0	0	0	
	大村東	3	78.0	43	4	43	3	0	1	-1	0	
	小計		83.2	186	12	184	10	0	1	-1	-2	
第8グループ	諫早	5	82.6	73	0	73	0	0	0	0	0	
	諫早北	4	72.0	74	4	72	4	0	2	-2	-2	
	諫早西	4	90.2	43	0	43	0	0	0	0	0	
	諫早多良見	4	90.6	32	0	32	0	0	0	0	0	
	諫早南	2	94.4	16	6	18	8	0	0	0	2	
	小計		86.0	238	10	238	12	0	2	-2	0	
第9グループ	長崎	4	82.0	78	0	83	0	0	0	0	5	
	福江	5	85.2	33	0	33	0	0	0	0	0	
	長崎北東	4	80.3	38	3	37	2	0	2	-2	-1	
	福江中央	4	90.7	20	0	20	0	0	0	0	0	
	長崎西	4	80.6	49	0	47	0	0	0	0	-2	
	長崎琴海	4	58.1	16	0	16	0	0	0	0	0	
	小計		79.5	234	3	236	2	0	2	-2	2	
第10グループ	長崎北	3	79.5	85	0	85	0	0	0	0	0	
	長崎南	4	81.8	71	0	71	0	0	2	-2	0	
	長崎東	5	77.1	43	2	45	2	0	0	0	2	
	長崎みなと	3	86.7	25	1	25	1	0	0	0	0	
	長崎中央	3	94.7	60	0	60	0	0	0	0	0	
	長崎出島	5	83.9	59	8	62	11	0	0	0	3	
	小計		84.0	343	11	348	14	0	2	-2	5	
57クラブ合計			83.3	2,228	85	2,259	88	3	8	-5	31	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2017年9月末までの増減です。

＊上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
7月1日から2017年9月末までの増減です。



国際ロータリー第2740地区 駒井英基ガバナーと行く 2018年トロント国際大会参加旅行のご案内

(第1次案内)

【トロント+ナイアガラフォールズ6日間】添乗員同行プラン

※ 下記行程・料金等については、現在計画段階のため変更になる場合があります。

日次	月日(曜)	地名	現地時刻	交通機関	スケジュール	食事
1	6/22 (金)	福岡発 仁川着	21:05 22:35	KE0782	空路、仁川へ 着後、空港周辺ホテルへ ＜仁川泊＞	朝：－ 昼：－ 夕：機内
2	6/23 (土)	仁川発 トロント着	9:35 9:40	KE0073 専用車	トロントへ 到着後、観光 ＜トロント泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
3	6/24 (日)	トロント		専用車	午前：トロント国際大会開会式 参加 午後：トロント市内観光 ＜トロント泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
4	6/25 (月)	トロント ナイアガラフォールズ	午前	専用車	トロント発ナイアガラへ(約1時間30分) ナイアガラ観光・遊覧船など ＜ナイアガラフォールズ泊＞	朝：○ 昼：○ 夕：○
5	6/26 (火)	ナイアガラフォールズ トロント発	午前 12:40	専用車 KE0074	集合後、空港へ 空路、仁川へ ＜機中泊＞	朝：機内 昼：○ 夕：○
6	6/27 (水)	仁川着 仁川発 福岡着	15:10 18:35 19:55	KE0781	仁川乗継、福岡へ 通関後は自由解散	朝：機内

基本旅行代金 (航空機：エコノミークラス利用 ホテル：2名1室利用)

トロント・ナイアガラフォールズ6日間 お一人様 490,000円(予定)

2018年(平成30年) 6月22日(金)～6月27日(水)

・ビジネスクラス利用追加料金 390,000円

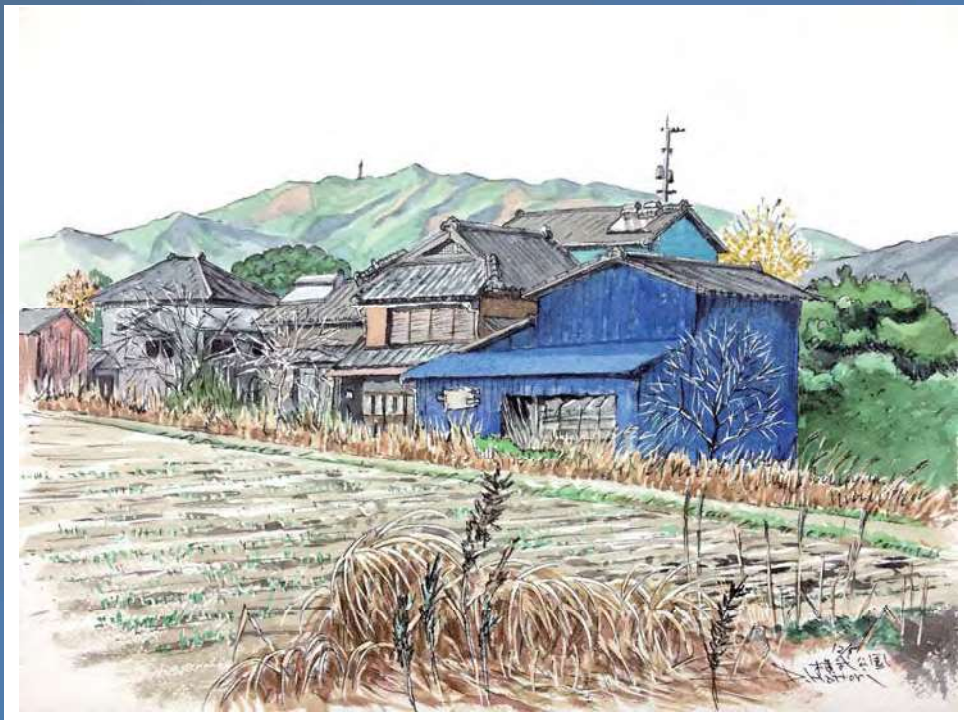
・シングルルーム追加料金 99,000円

・燃料サーチャージ・空港税 11,940円(9/20現在、日々変動)

□国際大会登録料 第1期(12月15日〆切) 345US\$ 第2期(3月31日〆切) 420US\$

□利用予定ホテル <トロント> ヒルトン ガーデン イン トロント エアポート

<ナイアガラ フォールズ> オークス ホテル オーバールッキング ザ フォールズ



服部大次郎 「神埼の農家」

作品介绍

〈表紙〉年の瀬、慌ただしく海苔船が往来します。
漁船が故障したのか、栈橋で大型リフトが待ってます。
〈裏表紙〉すっかり、枯野となった田んぼ。
人影はなく、ただ北風が吹き抜けていく。

国際ロータリー第 2740 地区 ガバナー事務所

〒840-0815 佐賀市天神2丁目 2-28 松尾天神ビル1103号室
TEL 0952-26-6868 FAX 0952-26-6844
HP <http://www.d2740.org/>
E-mail : ri2740sagapiece@orion.ocn.ne.jp